

集団行動の指導

学校教育活動において、児童生徒が秩序正しい行動や安全で効率のよい行動をとるよう指導することは、仲間とのかかわりを深めることや緊急時の対応のためにも極めて重要なことである。

特に体育・保健体育の授業においては、学級もしくは小集団による学習活動が各種の運動を通じて展開されるため、体育の学習活動の効率向上や安全確保のため集団行動の必要性が考えられる。

ア 集団行動指導の留意点

(ア) 集団行動について理解させる

児童生徒が規律を守り、秩序正しく行動することは教育活動を安全で効率よく進めるうえで、効果的なものであることを理解させる。

(イ) 集団行動の基本的様式を身に付けさせる

行動様式の基本的な内容としては、姿勢・方向変換・集合・整頓・列の増減・開列・行進などが挙げられる。これらの実施方法を理解させ、発達の段階に応じて行動様式を身に付けさせる。

(ウ) 約束事や決まり事を守って行動させる

児童生徒が集団の中で、仲間とのかかわりを理解し、形式ばかりではなく、必要性を理解するよう指導する。

(エ) 機敏・的確に行動させる

集団の秩序を保ちながら効率よく行動するためには、周囲の状況に応じながら機敏に動くことが大切であることを理解させ、機敏かつ的確に行動させる。

(オ) 仲間と協力して責任を果たさせる

集団の目標を達成するためには、一人一人が自分の役割を理解し、仲間と協力しながら個人の責任を果たさせる。

(カ) リーダーの指示に従った行動をとらせる

集団としてのまとまりを崩さないよう、リーダーの指示や合図に従って行動をとらせる。

(キ) 安全に留意して行動させる

活動する場所や施設・用具の状況を判断し、周囲の状況に応じた的確に行動させる。

【参考例】

列の増減

(1) 2列横隊から4列縦隊をつくる

ア 合 図

「4列右向け……右」

イ 方 法

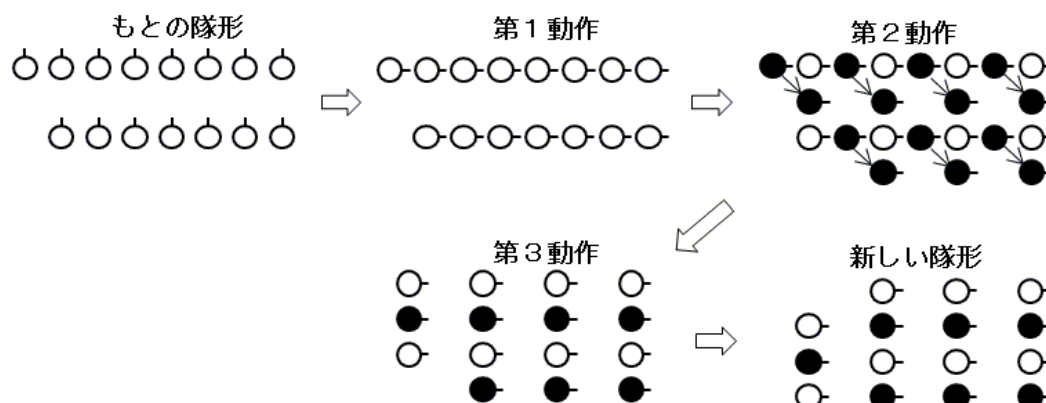
(ア) 通し番号をかける。

(イ) 第1動作で、一斉に右に向きを変えて、2列縦隊になる。

(ウ) 第2動作で、偶数の者は右足を斜め前に1歩踏み出す。

(エ) 第3動作で、左足を引きつけて4列縦隊をつくり、整とんする。

1	2	3	4	5	6	中	高
			○	◎	◎	◎	◎



イ 基本的な行動様式と合図（例）

行動様式		号 令	
		予 令	動 令
姿勢	○ 気をつけの姿勢 ○ 休めの姿勢 ○ 腰をおろして休む姿勢	なし なし 「腰をおろして」	「気をつけ」 「休め」 「休め」
変換	○ 右（左）への方向変換 ○ 後ろへ方向変換	「右（左）向け」 「回れ」	「右（左）」 「右」
集合・整とん	○ 縦列の集合 ○ 縦隊の整とん ○ 横隊の集合 ○ 横隊の整とん ○ 番号（通し番号） ○ 1・2、1・2の番号 ○ 整列しない集合 ○ 解散	「○列縦隊に」 「前へ」 「○列横隊に」 「右へ」 「番号」 「2の番号」 なし	「集まれ」 「ならえ」 「集まれ」 「ならえ」 「はじめ」 「はじめ」 「集合」 「わかれ」
列増減	○ 2列横隊から4列縦隊， ⇒4列横隊 ○ 4列横隊から2列横隊 ○ 2列縦隊から4列縦隊 ○ 4列縦隊から2列縦隊	「番号」「4列，右向け」 ⇒「左向け」 「4列から」 「番号 2列から」 「4列から」	「右」 「左」 「2列」 「4列」 「2列」
開列	○ 両手間隔の開列 ○ 片手間隔の開列 ○ 集合	「○○基準，両手間隔に」 「○○基準，片手間隔に」 「元の位置に」	「開け」 「開け」 「集まれ」
行進	○ 歩行 ○ 駆け足 ○ その場足踏み ○ その場駆け足 ○ 停止	「前へ」 「駆け足」 「足踏み」 「駆け足足踏み」 「全体」	「進め」 「進め」 「はじめ」 「はじめ」 「止まれ」（右足着地時）
礼	○ 礼	なし	「礼」

ウ 指導者の号令に関する留意事項

- (ア) 活動場所や施設・用具等の状況を的確に把握し，柔軟に対応する。
- (イ) 毅然とした態度で，大きな声で歯切れよく号令をかける。
- (ウ) ホイッスル等を使用する場合は，音の長短や強弱を活用する。
- (エ) 行進する場合は，歩調を合わせるよう「1・2」や「左・右」などの合図を適宜出す。
ホイッスル等を活用する場合は，「左」足の動きに合わせて合図する。

* 参考文献

- ・ 体育（保健体育）における「集団行動指導の手引」（改訂版） 平成5年10月文部省